

RIAS LETTER

2023 WINTER VOL.02

さあ、いいよ、いいよ 始まります！

お待ちせ！
お待ちせ！



2023年、 三陸はもつと 面白くなる。

三陸から、こんにちは。3-11(SPPS3-1)のNPOディスカバー・リアスの会報「リアスレター」第2号をお届けします。2022年も大変な年でしたが、できる限りの活動を行いました。その一部をここで報告いたします。

私が東京から三陸に移住して2年が経ちました。拠点は岩手県大船渡市ですが、スティーリース三陸

画運営を主な事業としていますが、決してタイムや順位を争う競技志向の団体ではありません。ロゲイングやレースを通して、このように三陸の新しい魅力を発見し、それを多くの方々と共有していくこと。それが私たちの目的なのです。今後もこのような主旨にご賛同いただき



特定非営利活動法人
ディスカバー・リアス
代表 中尾 益巳



三鉄&ラン! リアス線をめぐる冒険

【「さんロゲ」開催レポート】

さんロゲ

【さんロゲ第1回 5/29】
宮古&山田

県内外から参加される多くの方々に三陸の良さをどう伝

【さんロゲとは】
ロゲイングとはオリエンテーリングの一種で、競技エリア内に設定されたチェックポイントを探し得点を競うスポーツ。さんロゲ(三陸鉄道ロゲイング)は三陸鉄道様の特別協力をいただいた新しいイベントで、競技中は三鉄を自由に乗り降りしながら、リアスの絶景地や復興した街のチェックポイントを回ります。



【さんロゲ第1回】
えようか。どんな風景を見せようか。」と考え、地元小生のアイデアも生かしながらチェックポイントを探し、準備を進めていきました。

【さんロゲ第2回 8/28】
釜石&大槌

2021年は「ロゲイング・リアス」と題して大船渡&陸前高田で開催したのが、当団体が主催するロゲイング大会も3回目。釜石市と大槌町を舞台としたさんロゲ第2回には常連ランナーも多く参加し、地域に活動が溶け込んできたことを実感するイベントとなりました。

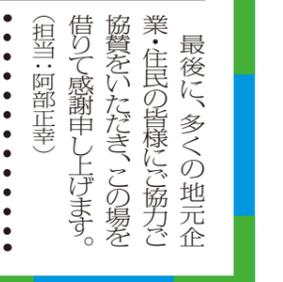
【参加者の声】
「みんな地道中考えた話をしたりして楽しかったし、絆が深まった。」
「思った以上にハードだったが頭も体も使い、ゴール時の達成感が半端なかった。」
「単なる観光目線でない角度で地域を感じる事ができた。」



【さんロゲ第2回】
最後に、多くの地元企業・住民の皆様にご協力ご協賛をいただき、この場を借りて感謝申し上げます。(担当:阿部正幸)

【特別協力】三陸鉄道株式会社
【協賛】第一生命 盛岡支社
【賞品・サービスをご提供いただいた皆さま】
第1回【宮古市】Art Eriy's、異人館、共和水産株式会社、さとう衣料店、浄土ヶ浜パークホテル、浄土ヶ浜旅館、浄土ヶ浜レストハウス、すがた、ドール洋菓子店、ぴかいち亭、菱屋酒店、レド・シェパード【山田町】うみねこ温泉湯らっくす、菓子工房じよぶ、釜揚げ屋、びはん、ホームワンスター、道の駅やまだ
第2回【釜石市】尾崎神社、株式会社かまいしDMC、株式会社浜千鳥、藤勇醸造株式会社、宝来館、洋菓子モンド【大槌町】おおつちおばちゃんくらぶ、大槌孫八郎商店、K-SURF、TKMS BASE、民宿六大工、MOMIJI株式会社 (各市町五十首順・敬称略)

【参加者の声】
「思った以上にハードだったが頭も体も使い、ゴール時の達成感が半端なかった。」
「単なる観光目線でない角度で地域を感じる事ができた。」
「新しい防波堤の高さから津波の凄さや怖さを改めて感じた。」
「震災の際の津波がここまで...の看板や、震災後の復興も感じられました。」
「地域の方に温かく迎えていただいた。見ず知らずの私たちに挨拶してくださる方が多く嬉しかった。」



SRS100 & 2022 10/29-30 三陸試走会 & キャンプ



たが陸の孤島となり、町と町をつなぐ道がなかったために物資が届かなくなったというところでした。女将さんは昔使っていた山道の復活を目指して自主的に整備を始めていました。そこをレースコースとして設定してランナーが通ること、

をその場でヒアリングできたのも大きな収穫です。初日の試走の後には三陸ならではの新鮮な海鮮バーベキューの懇親会を開きました。参加されたボランティア7名に加え、正会員のうち4名は東北在住者でしたので、地元在住者とレース主催者両方の目線で意見を出せるメンバーが集い、意見交換の場としても非常に有意義な機会になりました。



思い出づくりが三陸沿岸の復興&振興に

三陸鉄道株式会社 代表取締役社長 石川 義晃さん

三陸鉄道ロケポイントの商店で菓子や買い、漁師を訪ねて「おふま」に参加された皆さん、るまい」をいただきました。ロケや「ステージレース」が地域の復興や振興の新しいプラットフォームが数日をかけて南三陸町にゴールする様子は、来年もお会いしましょう！

「さんろげ」の特徴は、競技エリアにおける三陸鉄道の利用が自由であること、地域のみなさんとの交流の力を入れていること。各チームはチェック



「いのちの道」への思い

釜石市 宝来館 女将 岩崎 昭子さん

宝来館は、破壊されたため私たちの根浜海岸という美しい海を目の前にし、波の音を聞きながらお泊り頂けた。この避難道は山の尾根に続いていきます。山頂には避難道があり、裏山には避難道があり、11年前の東日本大震災の時はこの避難道に逃げ、山を駆け上がった。助かったことができた。歩くのが難しい状態ですが、整備すれば鶴住居復興スタジアム(2019ラグビーワールドカップ会場)に続き、被災しても孤立しない道になるのです。

私は大震災以来、「人が歩けば道になり、その道はいのちの道」になりました。とお話しさせていただきました。そんな時、この山をトレイルランとして走る企画を考えて下さるディスカバー・リアスの皆様にお会いして、大変感動しています。いざという時のための道は、いつも何かに使われながら生かされる道でありたいです。このご縁に感謝申し上げ、ステージレース三陸の成功をお祈りいたします。

「ステージレース三陸100(SRS100)とは」

私たちの大目標であるステージレース三陸311(全長311km)の実現を目指すための第一弾のレースです。「さんろげ」を開催した宮古市・山田町・大槌町・釜石市をつなぎ、100kmを2日間で行います。残念ながら2023年春に延期しましたが、開催を予定していた10月末に、2日目のコースである約35kmの試走会と、小さなキャンプイベントを開きました。

【SRS100試走会 & キャンプ報告】

今年レース開催を予定していた10月29日(土)30日(日)に、NPO正会員11名に加えて、ボランティアランナー7名の方にご参加頂き、SRS100コースの一部の試走と調査を実施しました。

ステージレース三陸では、リアス海岸の絶景を楽しむ道だけでなく、東日本大震災の被害や復興に関わる道も通りたいと考え、地元の皆さんと触れ合いながら新しいルートも開拓していきます。

今回の試走では、釜石市鶴住居の街と根浜海岸を隔てる里山にある古い山道で、今は歩く方がほとんどなくなったトレイルを通りました。これは、地元の老舗旅館である宝来館の女将さんから、このトレイルを有事の際に避難路として通れる道に整備したいと聞いたことがきっかけです。この宝来館は津波で被災し復興を遂げた旅館ですが、避難はでき



三陸の新しい魅力を一緒にディスカバーしましょう

第一生命保険株式会社 盛岡支社 桃井直也さん

はじめまして。第一生命 盛岡支社の桃井と申します。「震災から立ち直った今三陸の新しい魅力を感じたい」というディスカバー・リアス様の想いに共感し、この度協賛させていただきます。

計2回開催された「さんろげ」では、これまでできなかった「ステージレース三陸」についても、来年こそ一緒に盛り上げたいと思っています。かきにも触れることができます。



【NPOディスカバー・リアスのメンバー紹介】

板坂克二(ニイタサカカツジ) 大澤良之(オオサワヨシユキ) 東京の国立市で薬局経営 岩手県盛岡市で整形外科をしながら映像制作や地域振興に携わっております。元々はテレビ番組制作会社に勤務し、情報バラエティ番組を担当しておりました。



トレイルランニングを始め、中尾さんと知り合い、以後中尾組として活動するようになりました。

の知人を介して代表理事の中尾さんと知り合い、以後中尾組として活動するようになりました。

大好きなお酒をよく飲まれています。



面でも活躍しています。三陸のわくわくポイントを探っています。



林 栄美子(ハヤシエミコ) 秋田生まれ、秋田在住の林です。10年ほど前から地元でトレイルランやロケイング大会の運営をしています。

毎回会報誌で少しづつメンバーを紹介していきます。今回はこの3人です。